

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 地域奉仕・環境事業 通信

2023年12月1日

2023-2024 年度事業主題

輝かそう、私たちの未来を Let 's shine our future

秋も深まり、すっかり寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。秋からクリスマスにかけては、多くのクラブで地域奉仕・環境事業が開催されて、地域社会に喜ばれていることと思います。

12月1日号の地域奉仕・環境事業通信では以下について報告します。

【各クラブの事業実施】

【ユースアクション 2024 の募集とユースアクション 2022 について】

1. 【各クラブの事業実施報告書より】

広島クラブ ホノルル発子どもによるミュージカル「平和は翼に乗って～佐々木禎子の生涯」(2023年9月2日、3日)

宝塚クラブ 「すべての人の作品展プラス」(2023年10月8日)

滋賀蒲生野クラブ きぬがさ作業所祭り (2023年11月4日)

京都 TOBE クラブ ひまわり園フェスのサポート(2023年11月3日)

大阪クラブ WEEK4WASTE とフレイル予防

米子クラブ ひとり親家庭支援相談会(2023年11月12日)

(1)広島クラブ ミュージカル「平和は翼に乗って」を見て平和を学ぶ (2023年9月2日、3日)

ホノルル発の子どもたちミュージカル「平和は翼に乗って」は2歳で原爆に被爆して、10年後に白血病で12歳で亡くなった佐々木禎子さんをテーマにしたミュージカルです。

彼女は白血病と闘いながら「千羽になれば元気になれる」と信じて、ひたすら折り鶴を折りました。2013年にこの折り鶴の1羽がハワイの真珠湾ビジターセンターに寄贈され展示されました。これをきっかけに2015年に禎子さんの生涯を描いた小中高生によるミュージカル「Peace On Your Wings」が現地で創られ、ニューヨークやロサンゼルスでも公演されるようになりました。

そして禎子が生まれた広島で公演したいとの希望が寄せられ、このほど広島で公演されることになりました。

広島クラブでは、このミュージカルを広島の今後の平和活動を担う国際リーダーをはじめその友人たちに見ていただいて、平和を考える機会にしてほしいとの観点から、ミュージカルに招待するとともに、事前に平和学習に参加してもらう事業を実施しました。

事前事業としては、Let's Get together インターナショナルピースセミナーに参加していただき、その後9月2日か3日にミュージカルを観覧されています。

以下では、Let's Get Together についての説明と写真、ミュージカルについてチラシと写真を紹介します。

Let's Get Together は、広島YMCAとホノルルYMCAの国際交流プログラムで、広島クラブが支援している事業です。藤川会長から

「Let's Get Together は、“リメンバー パールハーバー” ”ノーモア 広島”を祈念して、ホノルルYMCA と広島 YMCA が中高生の平和学習交流会として始まり、広島ワイズメンズクラブは、このプログラムを支援する目的でハワイの西オアフワイズメンズクラブとIBC が締結されていること知って欲しい。」そして、「この9月2日・3日には、ハワイの中高生が演じる、“佐々木禎子の物語のミュージカル”公演があります。このミュージカルは、ハワイの中高校生が誕生させたことはご存知ですね。

この公演には、広島の政財界や広島MCA等多くの組織や団体が支援して開催されますが、ワイズメンズクラブも西日本区地域奉仕・環境事業からの支援も得られ、広島YMCAのリーダーや学生に平和学習の場として、観劇してもらい、YMCA理解・啓発の輪を拡げてもらいたいと願っています。」と挨拶をされました。

Let's Get Together の写真です。

左は、ハワイの高校生・広島の高中生、ホームステイの家族、広島YMCAのプログラムサポーターたちの集合写真



ミュージカルのチラシと、ミュージカルの出演者です。



9月3日は湯崎広島県知事が来場(右)
左は黒瀬実行委員長(広島 YMCA 名誉理事長)

(以上、広島クラブ藤川会長より)

私も、9月3日藤川会長ご夫妻とミュージカルを観覧し、佐々木禎子さんが家族や友人を大切にして一生懸命生きた姿を見て、原爆による白血病は誰にも経験してほしくないと思い、平和の時代に生きるありがたさを感じ、その一方でハワイの子供たちのレベルの高い歌とダンスを楽しみました。公演の帰りには、藤川会長ご夫妻の案内で、今回の公演の出演者たちも見た平和公演の平和の子の像を見ながら。今回のミュージカルを見た若い世代の人たちも、平和を守っていただきたいと思いました。

(以上、地域奉仕・環境事業主任 川口恵)

(2)宝塚クラブ 「すべての人の作品展プラス」 2023年10月5日～9日 (10時から19時)

主催は「壁がなければ実行委員会」で宝塚クラブは協力として参加。

5つのプログラム(手織りにつながる、描でつながる、大地でつながる、踊りでつながる、大空でつながる)がある。

宝塚クラブは「大空でつながる」に参加。

10月8日 13時～16時に宝塚市国際文化センターにおいて実施。17人の参加。

具体的には「ぐにゃぐにゃ風」に思い思いのメッセージと絵付けを1時間で行い、その後武庫川

右岸の河川敷で凧揚げをする 予定であったが、凧揚げの時間に雨天となり中止。

今回製作した凧は宝塚クラブが3月に予定している「揚がれ、希望の凧！」において揚げることになった。

この事業は地域の作業所、障害者施設に呼びかけ制作されている織物、絵画、書道、彫刻、工芸などを障害のある方々だけでなく一般市民が一同に参加できる場の提供をし、いろんな形で繋がり憩いの場が広がっていくことを目的に開催された。一週間にわたる展示で、毎日のべ80人が来場。

宝塚ワイズメンズクラブが支援しているはんしん自立の家の入居者の方々に呼びかけ、展示のONEブースを入居者の方々による作品を飾った。

写真は宝塚クラブメンバーの「ぐにゃぐにゃ凧絵付け」の様子と、作品展の紹介です。



※ なお、宝塚クラブは、20年以上にわたる地域奉仕活動に対して、2023年11月10日の宝塚市社会福祉協議会主催の社会福祉大会において、理事長感謝状を授与されています。

(3) 滋賀蒲生野クラブ きぬがさ作業所祭り 2023年11月4日 10時～15時
場所は、安土文芸の里 参加者 5名

コロナ禍の影響で中断されていた「第38回きぬがさまつり」が開催され お手伝いに参加しました。中断の前は、15年間、毎年「タコ天」なるブースを任せ販売しました。(お酒のあてにぴったりの「タコ天」です)。しかし、コロナ禍の影響で、今回はキッチンカーをはじめ外部からの屋台のみになりました。

我々も高齢化もあり、クリーニング隊という ことで、ごみの管理・整理を担当。

私たちのクラブは、きぬがさ作業所に、日頃から、ペットボトルのキャップ・アルミ缶・牛乳パック等を届けています。

高齢化とメンバー数が数なく人的パワーも弱い、というクラブもわがクラブだけではないと思います。が「できることをできるだけ」の気持ちで続けてきました。率直に先方に事情を理解していただいたうえで、できる奉仕をさせていただいています。

こんな我々でも先方から見れば、歓迎してくださり喜んでいただけることパワーとしていただいています。長く続けられることを望んでいます。

今後も作業所に寄り添う形でできることをやっていくつもりです。

(以上 井之上温代会長より)



(4) 京都 TOBE クラブ ひまわり園フェスのサポート(2023年11月3日 10:30~14:30)

参加者 10名(メンバー9名、コメント1名)

ひまわり園(京都府向日市にある社会福祉法人が営む就労支援施設)

当クラブの所有するスマートボール・ストラックアウト・輪投げを無料で利用してもらいブースを設けてひまわり園の利用者、地域の方たち、特に地域の子供達に楽しんでもらい、景品も配りました。

遊びに来てくれる子どもが多かったため、安全を第一に実施しました。

例年参加してくれるメンバーが多かったため、スムーズに運営できました。

(TOBE クラブ 渡邊 聡会長より)



スマートボール



ストラックアウト

(5)大阪クラブ WEEK4WASTE とフレイル予防

大阪クラブでは WEEK 4WASTE とフレイル予防という事業を実施しています。これは、ウォーキングしながら、清掃活動をおこなうというものです。

以下、大阪クラブの田尻会長からの報告をご覧ください。

大阪ワイズメンズクラブは、2021年10月から大阪ワイズメンズクラブ主催、ワイズメンズクラブ中西部共催、大阪YMCA後援で「フレイル予防クリーンアップウォーキング」を開始しました。

プログラムの趣旨は、高齢化が進んでいる現在、ウォーキングを通して高齢者の健康を維持しつつ(フレイル予防)、SDG'S の概念に則った、ワイズ国際会長が推奨した Week4Waste を実践すべく市街の美化活動を実践することです。

※フレイルとは日本医学会が2014年に提唱した概念で、Frailty(虚弱)を意味し、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指しますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性があります。

大阪ワイズメンズクラブは、このフレイル予防とクリーン(Week4Waste)運動を原則毎月第4土曜日の午前10時に大阪YMCAをスタートして大川(土佐堀川)沿いに中之島公園やなにわ筋または四橋筋から靱公園を経てYMCA会館に戻るコースや天満橋から大阪城公園外堀沿いのコースなど清掃活動しながら1時間半から2時間で歩けるコースを設定しています。この活動を通じての発見は、日常の清掃が行き届いており、吸い殻や空き缶、紙屑等殆ど落ちていないことです。また、私たちと同じようにクリーン活動をしている団体(親子連れや若い方々を中心とした集団)と交差し、コースが重なっており、ペットボトルや缶は既に回収されていることもありました。それから道行く方々から「お疲れ様。」といった声かけも多く、励みになりました。

今年は7月から9月の活動は猛暑のため、休止しました。10月からはプログラムのプロモーションも兼ねて清掃活動を休止して大阪近郊のハイキングコースを散策することで参加者を増やすことを目的としています。

(以上、大阪クラブ田尻会長より)



2023年5月27日

2023年3月25日



(6) 米子クラブ ひとり親家庭支援相談会(2023年11月12日)

米子クラブでは、ひとり親家庭支援を行っています。

鳥取県母子寡婦福祉連合会との共催で昨年につき2回目の相談会です。

相談会には9家庭19名の参加がありました。スタッフは、連合会3名・ワイズ5名。

当日は、相談会・進路相談会・ワイズメンズクラブによる食料品の提供。子どもたちには、お菓子釣り・幼稚園の園庭で外遊びを楽しんでもらった。特にたこ焼きパーティーは大好評でした。

この会の目的は物資の支援が主ではなく、お互いの悩みを分かち合うことが出来る集いの場の提供が第一の目標です。つかの間の2時間でしたが、お母さん・子どもたちの笑顔が私達ワイズの力になりました。

赤沢亮生衆議院議員、浜田妙子鳥取県議会議員が視察にお越しいただきました。活動に興味を持たれると同時に、赤沢様とは子どもの貧困・貧困の連鎖について教育の視点から意見交換ができました。

浜田様とも社会の現状、ワイズ活動についてお話しすることが出来ました。

(以上 野口会長より)

シングルママ
シングルパパのための

ひとり親家庭
相談支援センター
出張相談会

お子さん連れでも大丈夫！どうぞお気軽にお越しください！

【日 時】
11月12日(日曜日) 13時～15時

【会 場】
米子市安部12-2
米子聖ニコラス教会 ナッシュホール他

【参加資格】
シングルママ・シングルパパならどなたでもOK

【内 容】
●ひとり親家庭相談会・お子様の進路相談
●ワイズメンズクラブによる 食料品等の提供
●ティータイム
●お菓子作り・幼稚園の園庭で外遊び
●みんなで楽しむたこ焼きパーティー

参加・相談
無料

お申込み
お問い合わせ

一般社団法人 鳥取県母子寡婦福祉連合会
ひとり親家庭相談支援センター 電話:080-7508-4231(井田)

REGIONAL JAPAN WEST
米子ワイズメンズクラブ 会長 野口 純一

優しい色のポスターで、シングルママだけでなくシングルパパもどうぞ、となっています。また野口会長によると、主たる目的は、物資の提供でなく、悩みを分かち合う集いの場とすること。ほっとくつろいで話ができる場を提供することは、寄り添う、ことを大切にしているらしい活動ですね。

2. 【Y's × SDGs Youth Action2024 の募集紹介と 2022 の紹介】

(1)Y's × SDGs Youth Action2024 の募集が行われています。

西日本区のホームページに掲載されています。応募要項等が出ていますので、詳細はそちらをご覧ください。この事業通信では以下に抜粋して、スケジュールとY's × SDGs Youth Actionとは何かをお伝えします。

なお、応募は2024年2月10日までとなっていますので、日頃、YMCAでユースボランティアリーダーとして活動しているユースをはじめ、ユースの方によびかけて応募していただけたらよいと思います。

スケジュール

- 2023年11月15日～2024年2月10日 応募受付期間
- 2024年3月末まで 選考期間
- 2024年3月 採否及び助成金金額の通知及び助成金申請手続き
- 2024年5月から12月末 活動期間(8か月間)
- 2025年1月～3月報告書及び助成金精算書の提出
- 期間中に報告会(オンライン等)を実施予定(参加必須)

Y's × SDGs Youth Action とは

日本国内のYMCAとワイズメンズクラブ東西日本区による協働事業で国連が目指すSDGs(持続可能な開発目標)の17の項目を踏まえて、各地域における社会課題をその地域の未来を担うユース自らが気づき、考え、解決に向けた活動(Action)を応援し、伴走していく事業です。このような活動を

やってみいたいという若者たちのグループを YMCA やワイズメンズクラブ関係者、一般市民、学生や関心のある地元企業、団体とに広く働きかけ、各地域における社会課題解決に向けた活動を推進し、社会のため、人のために動き出す真のチェンジエージェントを生み出すことを目的とする。

(2)また、2022 のユースアクションについても西日本区のホームページで採択された 10 のプロジェクトを紹介します。これらの企画プレゼンテーション動画を見ることができますので、是非ご覧ください。

団体名	プロジェクト名
とちぎ YMCA 高校生ボランティアグループ「つぼみ」	子供の貧困 :子ども食堂運営・学習支援活動
富士宮高校会議所	ニジマスの残渣の再利用プロジェクト
盛岡 YMCA 子ども人権チーム	子どもの人権 :川柳募集企画と社会発信
オール熊本 YMCA リーダー会	子どもの居場所作り
SalamatA&Philippines Sky Light Project(埼玉県)	希望の絵本 ・教科書作成と海外(フィリピン)発送
聖ヨゼフ学園日星高等学校(京都府)	地元商店街活性化プロジェクト
滋賀 YMCA まちごとキッズスペースプロジェクトチーム	子どもの居場所 :放課後学舎運営
中央大学 YMCA 国際ボランティアサークル「ひつじぐも」	環境問題(ゴミ)啓発活動
滋賀 YMCA アウトドアクラブ・リーダー会	和蜂を養蜂を通した自然環境教育プログラム
山梨 YMCA ユースリーダー会	環境(ゴミ)問題イベントの実施と啓発活動(やまなしアクション 2022)

3.【その他】

各クラブや各部からの事業実施報告書と、事業実施に際しての支援金申請、お待ちしております。また、SDGsに関する卓話などの報告もお寄せください。

公開講演会

命と愛

子どもは未来の宝もの

講師

赤ちゃんポストの運営に中心的役割を果たされた
元慈恵病院看護部長

田尻 由貴子様

解説

大谷大学名誉教授 奈良市地域福祉推進会議会長

山下 憲昭様

望まない、育てられない境遇で生まれてきた
赤ちゃんや子どもたちに思いを寄せ
【命】【家族の絆】【子育て】について
共に考えましょう！！

入場無料
申込不要



日時 2024年3月3日(日)

午後1時～4時

場所 奈良公園バスターミナル

レクチャーホール

(近鉄奈良駅 徒歩約7分)

主催



ワイズメンズクラブ国際協会 奈良クラブ

公益財団法人 奈良YMCA



後援

奈良県 奈良県教育委員会 奈良市 奈良県医師会
奈良県歯科医師会 奈良県薬剤師会 奈良県看護協会